



## 国立二小の春 準備から感謝へ

校長 小林 理人

土壇を彩る紅白の梅も咲きそろい、いよいよ3月になります。

準備という言葉を意識した2月は、新しい年度に向けて様々な準備の活動がありました。学習や活動のまとめ、次年度の計画づくりや活動の引継ぎなどを通して、新年度に向けての目標や計画が少しずつ明確になってきました。

新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業が決まり、本年度最後となった今日の全校朝会で、6年生の代表委員が、在校生に残す言葉について自分たちの考えを説明してくれました。

今年は、教育目標である「つよく」「かしこく」「あたたかく」を自分たちの言葉にして在校生に残すことを考えてくれました。

(つよく) 挑戦することをおそれずに  
 (かしこく) 自分から考えて行動する  
 (あたたかく) みんなとの輪を大切に

私は、代表委員会の6年生が、私たち教職員の願い

である教育目標をもとに言葉を考えたことをうれしく思いました。そして、先生と子供たちが同じ目標に向かって進むことができる素晴らしいアイデアであることを子供たちに伝えました。

私たち教職員も、学校評価を踏まえた来年度の計画づくりを進めています。その内容について、保護者会等での説明を予定していましたが、新型コロナウイルスによる感染症防止のためにできなくなりました。本日は、その資料を裏面に印刷し、合わせて来年度の年間行事予定を配布しました。

### 「感謝」の気持ちを未来につなげる

「♪ たのしい おも～いで ろくねんせい♪」

1年生の教室から、元気いっぱいの歌声が聞こえてきます。元気いっぱいの歌声も、歌詞の内容をじっくりと聞いていると、色々なことを思い出し、少し寂しい気持ちになります。

3月は、1年間の成長を喜び合うとともに、成長にかかわってくれた人たちへの感謝を伝えたり、別れを惜しんだりする月でもあります。1年生から5年生は、「6年生を送る会」で、お世話になった気持ちを替え歌に込めて6年生に伝える予定でした。下に紹介した歌詞は、学年の子供たちの声を集めてつくったものです。6年生の活躍が目に見えそうです。

子供たちの心に6年生への感謝の気持ちが育ち、3月を迎えることができたことをうれしく思うとともに、6年生を誇らしく思います。

1年生	たの～しい おも～いで6年生 やさしくあそん～で く～れたね おわかれは さみ～しい またあえたらい～いな わすれな～い～よ だいすきだよ いま～まで ほん～とに ありがとう
2年生	ありがとう さようなら 6年生 休み時間いっしょに あそんでくれた 朝の登校はん とても親切だった なにより学び会 すば～らしかった 中学に行っても 元気で
3年生	ありがとうさようなら6年生 ソフトボールサッカー とにかくうまい 友じょうと きずなで 協力と団けつ ソーランにエルコス 感動したよ やさしく かしこい すごいなあ
4年生	ありがとうさようなら6年生 明るく 温かい 二小のリーダー はじめてのクラブで やさしくしてくれた 委員会の仕事も 元気いっぱい みんなの あこがれ ありがとう!
5年生	ありがとう さようなら 6年生 アドバイス助かった 委員会クラブ 運動会きば戦 勝負分けた作戦 いつも笑顔優しく 支えてくれた たよれる存在 ありがとう!

これまで経験したこともない事態になりましたが、感謝の気持ちは、未来に向かう前向きな気持ちの支えになります。3月の登校日は24日の修了式、25日の卒業式のみとなりました。感謝の気持ちが、未来につながる修了式、卒業式になるよう準備を進めていきます。